# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

04-043416

(43) Date of publication of application: 13.02.1992

(51)Int.CI.

G06F 1/16

(21)Application number : 02-151405

(71)Applicant : BROTHER IND LTD

(22)Date of filing:

08.06.1990 (72)

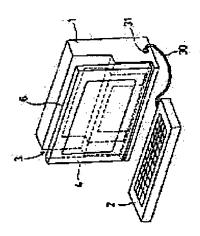
(72)Inventor: ITO KAZUO

**SUZUKI SHIGERU** 

# (54) ELECTRONIC EQUIPMENT

# (57) Abstract:

PURPOSE: To save space and to view a display even in stored state by forming the space between the display and a mainbody and storing the keyboard in the space. CONSTITUTION: Parts assembled at the internal part of the mainbody 1 is arranged in an L-shape where an installation area on a desk becomes the smallest by remaining the storage part space 3 storing the keyboard 2. The display 4 and the mainbody 1 are connected in a U-shape through a keyboard holder 5 and the storage part 3 for storing the keyboard 2 is formed between a display back 6 and the mainbody 1. When the keyboard 2 is not used, the keyboard 2 is stored in the space between the display 4 and the mainbody 1. Thus, space can be saved and the display can be viewed even in the state where the keyboard is stored.



# **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑩ 日本国特許庁(JP)

(1) 特許出願公開

#### 平4-43416 ⑫ 公 開 特 許 公 報(A)

®Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

@公開 平成 4年(1992) 2月13日

G 06 F 1/16

7832-5B G 06 F 1/00 312 V

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

電子機器 ❷発明の名称

> ②特 頭 平2-151405

平2(1990)6月8日 ❷出

茂

愛知県名古屋市瑞穂区堀田通9丁目35番地 プラザー工業

株式会社内

明 個発

愛知県名古屋市瑞穂区堀田通9丁目35番地 ブラザー工業

株式会社内

勿出 願 人 ブラザー工業株式会社 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

# 1. 発明の名称

### 電子機器

#### 2. 特許請求の範囲

1. 本体と、該本体と隣接して設けられたディ スプレイと、前記本体及びディスプレイから離さ れて設けられたキーポードとを備えた電子機器に おいて、

前紀ディスプレイと前記本体との間に空間を形 成すると共に、その空間内に前記キーボードを収 納可能としたことを特徴とする電子機器。

# 3. 発明の詳細な説明 ・

#### [産業上の利用分野]

本発明は電子機器に関し、更に詳細には本体と、 該本体と隣接して設けられたディスプレイと、前 記本体及びディスプレイから離されて設けられた キーボードとを備えた電子機器に関する。

## 【従来の技術】

従来、フラットパネル形のディスプレイを有し、 コンピュータ本体とキーボードを分離して使用す

るポータブルコンピュータ(以下、単にPCとす る)等の電子機器においては、一般的に、移動時 や使用していないときには、キーボードがディス プレイ前面に収納されるよう構成されている。

## [発明が解決しようとする蹂躪]

しかしながら、上記のようなPCは、ディスプ レイ郎、PC本体部、キーボード部が大きく、使 川するためには専用机が必要である。またキーボ ードをディスプレイの前面に収納する方式では取 り付け取り外しが頃雑で、本体の移動時以外キー ポードは本体に収納されることなく机の上に放置 されたままというのが実状であり、省スペース化 できていない。また、キーボードを使用しない状 **匹で、外部から送られてきた情報をディスプレイ** で見たい時などは、キーポードをディスプレイの 前に収納した状態ではディスプレイを見ることが できず、結局キーボードの置き場所が邪魔になる といった問題があった。

本発明は、上述した問題点を解決するためにな されたものであり、省スペースでキーボードを収

特問平4-43416 (2)

納した状態でもディスプレイを見ることが可能な 電子機器を提供することを目的とする。

# [舞蹈を解決するための手段]

この目的を達成するために、本発明の電子機器は、ディスプレイと本体との間に空間を形成する と共に、その空間内に前記キーポードを収納可能 とした。

#### [作用]

上記の構成を有する本発明の電子機器において はキーポードを使用しないときには、ディスプレ イと本体との間の空間内に前記キーポードを収納 することができる。

#### [実施例]

以下、本発明を具体化した実施例を図面を参照 して説明する。

第1図及び第2図は本発明を具体化したポータ ブルコンピュータの斜視図である。

本体1の内部に組み付けられる図示しない部品 (電源、基板、ディスクドライブ、拡張スロット、 放熱ファン等)は、キーボード2を収納する収納

いる。フレーム中央部に配置された2個の回転軸7にはディスプレイ4の背面部が回転可能に取り付けられている。また、ディスプレイ4の下端中央部分にはディスプレイ4の回転角度を調整用凸部8が形成され、これとかみ合うように本体1の下部中央が形は複数のくぼみをもった角度調整用凹部9が形成されている。これにより回転軸7を中心にて、ディスプレイ4は、垂直位置から後方へ15。傾く範囲で見やすい角度に傾斜及び保持させることができる。

キーボードホルダ5の下部は、回転軸10により本体1の下部に回転可能に取り付けられており、この回転軸10によりキーボード2をディスプレイ背面6と本体1との間に着脱する時、キーボード2の収納、取り外しが容易にできるようにディスプレイ4を手前に大きく関くことができる。また、キーボードホルダ5のフレームの中央部分の両端にはバネ性を持った爪部11が形成され、これとかみ合うように本体中央部二箇所に凹部が形

キーボードホルダ5は、そのフレーム中央部及びフレーム下部にそれぞれ2つの異なった回転軸中心をもっており、フレーム上部には、キーボード2をディスプレイ背面6と本体1との間に収納するために上方に延びるホルダが取り付けられて

成されている。これにより回転軸10を中心にして、ディスプレイ4は垂直位置から手前に8。傾いた位置まで開けることができる。この回転軸10には図示しないスプリングが装着されており、8。以下の位置ではディスプレイ4は常に本休1個に押し付けられている。

第3図(a)に示すように、キーボードホルダ 5のホルダ部分には、バネ性を持ったキーボード 固定用ガイドピン13が設けられている。また第3図(b)に示すように、キーボード2の背面には、キーボード2をキーボードホルダ5に収納した状態においてキーボード固定用ガイドピン13とかみ合うキーボード固定用凹部14が形成されている。

次に第4図 (a) 乃至 (d) を参照して木実施 例のポータブルコンピュータの動作を説明する。

第4図(a)はキーボード2の不使用時等においてキーボード2が収納部空間3に完全に収納された状態の側面図を示しており、キーボード2はキーボードホルダ5とディスプレイ背面6の間に

特閒平4-43416 (3)

挿入されキーボード固定用ガイドピン13がキー ポード固定用凹部14にかみ合うことにより保持 されている。この状態からのキーポード2の取り 外しは、第4図(b)に示すように、まずキーポ ード2、キーボードホルダ5、ディスプレイ4を、 キーボード2の上部を手前側に引くことにより回 転輸10を中心にして凸部11及び凹部のかみ合 いにより制限される8°の位置まで閉き、次にキ ーポード2を上部へ引き抜くことにより行なう。 キーボード2を取り出した後、ディスプレイ4及 びキーボードホルダ5を本体1側に押し倒すと、 キーボードホルダ5が回転軸を中心にして回動し て本体1に密替し、さらに押すことにより回転軸 7を中心にしてディスプレイ4が傾斜して、角度 調整用凸部8及び角度調整用凹部9のかみ合いに より0°から15°の範囲で見やすい角度にディ スプレイ4の傾斜角度が調整される。さらにキー ボード2の内部に収納されたキーポードケーブル 30及びキーボードコネクタ31が取り出され、 本体1に装着される。キーボード2の使用時を第

れているので、ディスプレイ4が見やすいという

効果がある。

尚、本発明は以上詳述した契施例に限定される可となく、その趣旨を逸脱しない範囲の変更はは、キーボード2取り外し時において、回転軸10による回転のかわりにキーボード2、キーボードホルダ5、ディスプレイ4ることが1の全体または一部が移動または回転するよう構成してもよい。また、本型のではキーボード2の定金の対策を収納状態の保持を機械的なるではあり生成していたが、保協力または確のような電磁力により生成する構成としてもよい。 [発明の効果]

以上、詳述したように本発明の電子機器においては、キーボードを使用しないときには、ディスプレイと本体との間の空間内に前記キーボードを収納することができるので、省スペース化が図れると共にキーボードを収納した状態でもディスプレイを見ることが可能である。

4図(c)に図示する。第4図(d)はキーボード2の不使用時、またはキーボード2の使用を一旦中断して別の作業をするために、一時的に本体1にキーボード2を取り外しやすい位置で止めておく場合の側面図であり、キーボード2の下下部がナーボードはからところまでキーボード2をすることにより仮収納できる。この状態からキーボード2をさらに下方へ押し込むことによりキーボード固定用ガイドピン13が外れて興まで完全に収納され、第4図(a)の状態に戻る。

以上、詳述したように本実施例のポータブルコンピュータにおいては、キーポード2を使用しないときには、ディスプレイ4と本体1との間の空間内にキーポード2を収納することができるので、省スペース化が図れると共にキーポード2を収納した状態でもディスプレイ4を見ることが可能である。

またキーボード2の使用時には前記空間を利用 してディスプレイ4の傾きを調整するよう構成さ

### 4. 図面の面単な説明

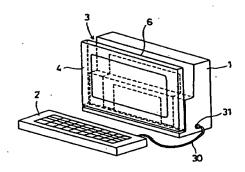
第1図は本実施例のボータブルコンピュータの 斜視図、第2図はディスプレイの一部を破断して 示す斜視図、第3図(a)はキーボードホルダの 斜視図、第3図(b)はキーボードの背面図、第 4図(a)はキーボードの完全収納状態における 側面図、第4図(b)はキーボードの取り外し時 の側面図、第4図(c)は、キーボードの仮収納時 の側面図、第4図(d)はキーボードの仮収納時 の側面図、第4図(d)はキーボードの仮収納時

図中、1 はポータブルコンピュータ本体、2 は キーボード、3 は収納部空間、4 はディスプレイ である。

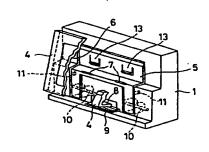
> 特 許 出 願 人 ブラザー工業株式会社 取締役社長 安井義博

# 特開平4-43416(4)

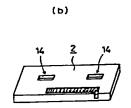
-第1図

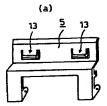


第2図



河3四





第4図

